

学校施設の安全確保にむけて

小・中学校等の施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす活動の場です。また、その多くが災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。

町では、昭和56年以前に旧耐震基準で建築した小・中学校の校舎、体育館について耐震診断を行い、今後、学校施設の耐震化に向けて早急に検討していきます。



溝口小学校校舎

耐震診断を実施しました

平成20年6月18日に施行された改正地震防災対策特別措置法において、昭和56年以前に旧耐震基準で建築された学校施設の耐震診断の実施と診断結果の公表が義務づけられています。

伯耆町では、平成20年10月から3月にかけて、伯耆町内の4つの小学校と1つの中学校の校舎や体育館などの耐震診断を実施しました。ただし、日光小学校と岸本中学校、八郷小学校の体育館は、新耐震基準で建てられているため、この度の耐震診断の対象とはなりません。溝口中学校の体育館は、平成9年3

月の耐震診断により耐震上問題なしという結果がでています。また、木造および延べ床面積が200㎡未満の施設も対象となりません。

その結果及び町の対応策は「耐震診断の結果」のとおりです。

耐震診断は、建物の地震に対する安全性を示すIs値と、建物が水平方向の力に耐えられる強さを示すq値の二項目を勘案して総合評価しています。

耐震診断結果にもとづいて

3月24日に耐震診断の結果が報告され、その内容を確認したところ、岸本小学校の体育館のIs値とq値が文部科学省の安全の目安としている値を下回っていることが判明しました。

今後の方針

4月9日に開催された議会全員協議会では、事態を重く見て慎重に審議いただき、議員の方々の意向を確認した結果、岸本小学校の体育館については、建て替えを行なう方針を決定しました。

また、岸本小学校の体育館以外にも2項目中1項目(Is値)の数値が文部科学省の安全の目安を下回っている施設が7棟あり、今後、学校教育検討会等で、学校施設の耐震化に向けて、早急に検討していきます。

耐震診断の結果

学校名	施設名	建築年	構造	結果	町の対応策
岸本小学校	前校舎	S42	鉄筋コンクリート造3階建	2項目中1項目(Is値)が安全の目安を下回った	耐震化に向けて検討します
	後校舎	S56	鉄筋コンクリート造3階建		
	体育館	S43	鉄骨造平屋建	2項目とも安全の目安を下回った	
八郷小学校	校舎	S45	鉄筋コンクリート造3階建	2項目中1項目(Is値)が安全の目安を下回った	耐震化に向けて検討します。
溝口小学校	校舎	S44	鉄筋コンクリート造3階建		
	体育館	S44	鉄筋コンクリート造平屋建	耐震上問題なし	
二部小学校	校舎	S50	鉄筋コンクリート造3階建	2項目中1項目(Is値)が安全の目安を下回った	耐震化に向けて検討します。
	体育館	S41	鉄骨造平屋建		
溝口中学校	前校舎	S38	鉄筋コンクリート造3階建	耐震上問題なし	
	前校舎の給食準備室	S39	鉄骨造平屋建		
	後校舎	S39	鉄骨造平屋建		

日光小学校と岸本中学校、八郷小学校の体育館は、新耐震基準で建てられているため、この度の耐震診断の対象とはなりません。また、溝口中学校の体育館は、平成9年3月の耐震診断により耐震上問題なしという結果がでています。



立ち入り禁止になっている岸本小学校体育館

急きよ臨時の教育委員会や対策会議を開催・協議し、岸本小学校の体育館を立ち入り禁止とすることを決定し、現在立ち入り禁止のバリケードを設置しています。それに伴って、4月3日に住民説明会を開催し、耐震診断の結果や今後の対策について説明し、住民の方々の理解を求めました。

【問合せ先】
教育委員会事務局
総務学事室
62-0927